

第1章 計画策定の意義

1 計画策定の背景と趣旨

社協では、平成7年3月に第1次瑞穂町地域福祉活動計画、平成12年3月に第2次瑞穂町地域福祉活動計画、平成17年3月に第3次瑞穂町地域福祉活動計画、平成23年3月に第4次瑞穂町地域福祉活動計画を策定し、地域福祉事業推進を進めてきました。

また、社協基盤強化である「発展・強化計画」については、それまで地域福祉活動計画の一部として計画推進していましたが、より社協基盤強化の計画性を明確にするため、平成23年3月に第4次瑞穂町地域福祉活動計画と併せ社協発展・強化計画「社協基盤整備ぷらん2011」（以下「ぷらん2011」という。）を策定しました。

社協は、この計画に基づき、様々な発展・強化策に取り組んできましたが、今後も社協として継続して取り組む課題や新たに発生した課題解決に向けて方向性を示すべく、第2次瑞穂町社協発展・強化計画を策定し、社協を「経営」という視点で事業展開してまいります。

さらに、平成28年度には、社会福祉法の一部改正により社会福祉法人制度改革がスタートする予定です。それにより社協が新たな取り組みを求められたり、以前からある取り組みを強化しなければならないものもあります。これらの取り組みについても本計画に盛り込み、計画に沿って着実に実行していく必要があります。

2 計画の位置づけ

本計画は地域福祉事業推進のための「第5次瑞穂町地域福祉活動計画」と同等の計画とし、社協としての理念や目指すべき方向性を明確にし、事業を推進するための指針として位置付けます。

また、瑞穂町の策定する瑞穂町第3次地域保健福祉計画をはじめとする関連する町の各種計画と連携を図ります。

3 経営理念及び経営目標

(1) 経営理念

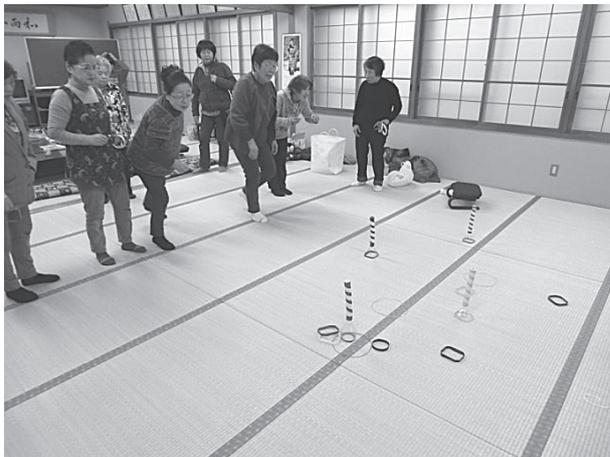
「住民参加・協働による福祉社会の実現」
「地域における利用者本位の福祉サービスの実現」
「地域に根ざした総合的な支援体制の実現」
「地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない挑戦」

(2) 経営目標

- ① 住民とともに進める福祉活動の推進団体として地域に開かれた組織づくり
- ② 安定した財政基盤の確立と効率的な法人経営による強い組織づくり
- ③ 個々の職員力を高め組織力を強くし地域住民に信頼される組織づくり

4 計画の期間

平成28年度～32年度（5年間）



富士見サロン



日本語ボランティア